

公的資金補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画執行状況について

平成 19 年度補償金免除繰上償還に係る、病院事業の公営企業経営健全化計画について、平成 23 年度決算の実績に基づく執行状況をお知らせします。

なお、執行状況については、国に健全化計画の承認を得る際に審査のポイントとなった「地方債現在高（病院会計）」「累積欠損金比率（病院会計）」「職員数」「改善額（行財政改革の結果得られる経費削減額などのこと）」の 4 つの指標について示しています。

平成 23 年度決算時点において、「1. 地方債現在高」「4. 改善額」の各指標について、経営健全化計画で掲げた目標を達成できています。「2. 累積欠損金比率」については、訪問看護ステーションを病院で運営することにより外来収益は増えたが、職員増により給与費増及び薬品費を中心とした材料費等の増により、計画値より下回っています。「3. 職員数」については、地方の小さな自治体病院では採用試験しても応募者がいなくなったりするため、今後の退職者に対する早めの対応を実施したため、計画値より下回っています。

23 年度で佐久穂町病院事業経営健全化計画は終了しましたが、収入増に向けて引き続き取り組みを進めてまいります。

1. 地方債現在高（病院会計）

（単位：百万円）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
計画目標値 A	238	147	100	52	3
実績値 B	238	147	100	52	3
乖離値 C(A-B)	0	0	0	0	0

3. 累積欠損金比率（病院会計）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
計画目標値 A	29.0%	30.3%	29.9%	28.8%	27.1%
実績値 B	26.4%	30.4%	30.7%	35.4%	39.6
乖離値 C(A-B)	2.6%	△0.1%	△0.8%	△6.6%	△12.5

※営業活動によって欠損を生じた場合、この欠損金を埋めるための処理として、繰越利益剰余金等で補てんする方法があるが、それでもなお補てんできなかったものの各事業年度の損失（赤字）額の累積されたものを累積欠損金という。この累積欠損金を当年度の医業収益で除したものを累積欠損金比率という。

4. 職員数（病院会計）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
計画目標値 A	83	83	82	80	80
実績値 B	83	82	85	84	89
乖離値 C(A - B)	0	1	△3	△4	△9

5. 改善額（病院会計）

（単位：百万円）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
計画目標値 A	3	6	9	12	15
実績値 B	55	10	33	25	16
乖離値 C(A - B)	-52	-4	24	13	1

※ 繰上償還に伴う経営改革の効果を改善額という。表には、外来収益と入院収益の改善額の合計を記載しています。